

生ゴミは畑の宝

植物が元気に育つには

植物を育てるのに必要なのは「良い土作り」が必要だと言われていますが、ここで言う土とは、有機質を含んだ土、「豊かな土壌」のことなのです。

自然界の中では、山には木々が茂り、雑草が生い茂り、鳥や動物が生活しています大きく育った樹木、生い茂る雑草、しかし、誰も肥料など与えてはいませんし、農薬も使用していませんが木々は元気に育っています。太陽の光によって光合成をおこない、雨によって水分をおぎない成長しているのです。しかし、それだけでは十分に成長することは出来ません、自然界では、冬になると木々は葉を落とし、雑草は枯れて、腐葉土となるのです、さらに、動物や昆虫の糞・死骸などが加わり、土壌の微生物によって分解され、「豊かな土壌」となるのです。

生ゴミは土作りの最高の資源

私達の野菜の育て方を考えてみますと、畑を起し肥料をまき、種や苗を植えます。秋にはそれを収穫するだけです。これでは畑がやせるだけではありませんか。この「豊かな土壌」いろいろな栄養分を含んだ土作りには生ゴミが最適です、十分に発酵させた生ゴミを土の中に埋め込み、土壌微生物によって分解させられ、いろいろな無機質に変わり植物の栄養となるからです。

生ゴミの中には野菜のくず・魚、動物の肉や骨の残り物が含まれています。

その生ゴミの中には植物の成長に必要なものの全てが含まれています。

植物の生育に必要な空気と水 即ち

炭素(C)・水素(H)・酸素(O)

植物の生育に必要な肥料

六大多量必須(ひつす)要素

窒素 (N)	葉の成長に
リン (P)	実や花の発達に
カリ (K)	根の生育に
苦土 (Mg)	葉緑素の構成要素
石灰 (Ca)	植物の細胞と細胞を接合する役目
硫黄 (S)	植物体中の酸素還元、生長の調整 生理作用

量的に少ないが無ければ植物の生育が出来ない

微量必須要素

マンガン (Mn)	空気中の炭酸ガスを気孔から取り入れるのに関与
鉄 (Fe)	葉緑素の生成を円滑にする働き
亜鉛 (Zn)	酵素に関係、各種の生理作用の調整
銅 (Cu)	植物体内の酸化還元
ホウ素 (B)	葉で出来た光合成の生成物を根や果実に運ぶ
モリブデン (Mo)	窒素を固定する力

あつた方が作物によっては健全に育つという特殊成分

珪素 (Si)

アルミニウム (Al)

塩素 (Cl)

他にも

ナトリウム (Na) ・ ニッケル (Ni) ・ コバルト (Co)